

# 平成29年度学校評価報告書

## 1 本年度の重点目標

- ・自主的に学習する意欲を養う。
- ・規則正しい生活する習慣を養う。
- ・適正な進路を選択する能力を養う。
- ・健康な身体と生命を尊ぶ態度を養う。

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	重点目標や経営方針は、生徒、保護者、地域の実態が今日的な課題に対応したものであるが、保護者や生徒への周知について、改善を必要とする。	教育目標が生徒の実態や保護者、地域の願いを踏まえ、地域に根ざした特色ある教育活動について、良好な評価を得ている。
改善方策	ホームページや広報誌への掲載、PTA総会等で保護者の集まる機会を有効に活用した情報発信に努める。	
学習指導	生徒の実態を把握し、基礎・基本の確実な定着に努めているが、外部研修会の情報共有や校内研修の充実に課題がある。	個に応じた指導については良好な評価を得ているが、補助教材やICTの効果的な活用面で課題が見られる。
改善方策	校内研修を充実させ教育課程の改善に向けた検討を進めるとともに、商業科を中心としたICT活用に努める。	
生徒指導	基本的な生活習慣の確立に向けた取組や問題行動等への対応は行われているが、生徒理解の方法や情報共有に課題がある。	交通安全や命を大切にす指導においては、高評価を得ている。
改善方策	学校全体での教育相談や個人面談等を充実し、個別対応を含めた生徒指導の充実に努めるとともに、学校全体の情報共有に努める。	
進路指導	進路決定状況は良好であるが、今後もキャリア教育の視点を踏まえた発達段階に応じた指導を充実する必要がある。	生徒一人一人の適性を踏まえた進路指導について、学校としての対応は適切であるが、キャリア教育の更なる充実が求められている。
改善方策	学校としての社会的・職業的な自立に向けたキャリア教育の充実とともに、進路指導部を中心とした進路相談活動の充実に努める。	
健康安全指導	安全教育や命の大切さを育む教育活動をさらに充実する必要がある。	命の大切さを育む教育やいじめなどの問題行動への対応について、学校として適切であったとの評価を得ている。
改善方策	交通安全や防災等の意識の高揚を図るとともに、いじめ防止基本方針の徹底によりいじめなどの問題行動の未然防止、早期発見・早期対応の取り組みをさらに充実する。	
特別活動	生徒の部活動や生徒会活動の自主的な取り組みはなされているが、LHRの活用について工夫する必要がある。	学習と部活動を両立させる指導について、学校としての取組は、概ね良好な評価を得ている。
改善方策	生徒の自主的活動の更なる充実に努めるとともに、地域と連携した活動を推進する。	
PR活動	体験入学や広報誌等の取組について工夫・改善に努めているが、中学生やその保護者、中学教員へのPR活動の充実が必要であるとの意見がある。	本校の教育活動の周知方法について、Webページや広報誌の作成など、学校としての取り組みは、好評価が得られている。
改善方策	オープンスクールや部活動見学会を毎年、日程等を変更しながら行っているが、さらに改善を加えて内容の充実とWebページの内容の充実に努める。	
公表方法	Webページへの掲載 周辺町内会へ広報誌の配布	